

どんな環境に
生まれ育っても
「未来は創り出せる」と
信じられる社会へ

認定NPO法人カタリバ

年次報告

2016年度

2016年9月1日～2017年8月31日

NPO **カタリバ**



コラボ・スクールは2016年度に福島県にも開校し、東北に3校、熊本に1校となり、2016年度だけで2,000人以上の子どもたちに心のケアと学習支援を行いました。

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

教材や備品の寄贈、システムや会場の無償提供、職場訪問など、
さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。



サッポロホールディングス株式会社

2011年から継続して「恵比寿麦酒祭り」での生ビールの売り上げ等を、東北及び熊本のコロボ・スクールへご寄付いただいている他、飲料水や会場提供等、様々な形でご支援いただいています。



フィリップモリスジャパン合同会社

2017年にコロボ・スクールまじき夢創塾(熊本県益城町)の運営費としてご寄付いただきました。



宗教法人救世軍

世界中で被災地支援を行う一環として、2016年からコロボ・スクール女川向学館(宮城県女川町)の運営費のご寄付をいただいております。



バンクオブアメリカ・メリルリンチ

2012年から継続してコロボ・スクール大槌臨学舎(岩手県大槌町)へ運営費をご寄付いただき、2016年にはアダチベースにもご寄付いただきました。



リシャルミルジャパン株式会社

2013年から継続してチャリティオークションの収益を、東北のコロボ・スクールの運営費としてご寄付いただいています。



ヤフー株式会社

2012年から「Yahoo!ネット募金」にご掲載いただき、継続的に寄付募集へのご協力をいただいています。また2017年には「Search for 3.11 検索は応援になる。」プロジェクトによるご寄付もいただきました。



コマツ

コマツとコマツグループ社員の皆様による義援金を、コロボ・スクールまじき夢創塾(熊本県益城町)の運営費としてご寄付いただきました。



株式会社大戸屋

熊本地震後の店頭募金を、コロボ・スクールまじき夢創塾(熊本県益城町)にご寄付いただいたほか、2014年から期間限定メニューの売上の一部を、東北のコロボ・スクールへご寄付いただいています。



モルガン・スタンレー

社員の皆様のご寄付に会社のマッチングギフトを合わせ、コロボ・スクールを始めとするカタリバ全体の活動にご寄付いただいている他、ボランティアプログラムとして学びの場もご提供いただきました。



Starbucks Foundation / スターバックス コーヒー ジャパン株式会社

カタリ場へご寄付をいただき、スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社社員の皆様にはボランティアとしても授業にご参加いただきました。



双日株式会社

2013年のコロボ・スクール大槌臨学舎(岩手県大槌町)の建設費用に続き、同大槌臨学舎への運営費としてご寄付いただいています。



株式会社ウィルグループ

株式会社ウィルグループのボランティアプロジェクト「WILLハート会」様より、2012年から定期的に東北のコロボ・スクールへご寄付いただいています。

プリンセス・クルーズ / ジャパン・ソサエティー / リゾートトラスト株式会社 / 株式会社チョイスホテルズジャパン / キャピタル・インターナショナル株式会社 / 株式会社プラスト / 株式会社セールスフォース・ドットコム / 株式会社紀伊國屋書店 / 株式会社ドン・ヒラノ / 大槌ロータリークラブ / 村田クリニック / 株式会社エクソンホールディングス / ピーアークホールディングス株式会社 / Laffoo 関西支部 / スウェップジャパン株式会社 / インヴァスト証券株式会社 / 株式会社キャセリーニ / 大和ハウス工業株式会社 / Kyuentai e. V. / ドクターリセラ株式会社 / 株式会社スターテック / 株式会社オールウィズ / ニュートンワークス株式会社 / アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会 / ONE TENTH Project / 八千代特殊金属株式会社 / 服部工業株式会社 / ならやまと整形外科スポーツクリニック / アスカ興業株式会社 / 水天宮

株式会社フロム・エー・ジャパン / RBCキャピタルマーケット証券会社 東京支店 / 養老国際交流協会 / 有限会社城山観光 / 北九州ライオンズクラブ / 白梅商店会 / 高槻市教職員組合 / 医療法人愛和会 / ホンザキ株式会社 / 有限会社豊田市民市場 / 表千家京都青年部 / フラメンコ 救え!東日本 / 東京都立第五商業高等学校 生徒会 / summerset college / 桜蔭学園同窓会 晁桜会 / ラブフォー・ジャパン / オリエンタルホテル 東京ベイ / 東北応援団 白金支部 / IB ART / 一般社団法人Smart Survival Project / 長野県茅野市立北部中学校 生徒会 / 女川に元気を送る会 / 住友林業安全協力施工店会札幌支部 / 株式会社高政 / 株式会社ビーフォレスト / 株式会社ONE FOR ONE / グンゼ株式会社 / マジックLIVE エンターテインメント / コール染谷丘 ぼこあ ぼこ / 特定非営利活動法人日本顎咬合学会 / グーグル株式会社 / シクロクロス東京実行委員会 / 災害復興支援チャリティ / クリエーターズチャリティズ ネットワーク北海道 / 数秘&カラプレゼンター本部 / 同志社大学 デルフォイ / 久留米大学附設高等学校 / WWE Japan 合同会社 / 東北メタルワンクラブ / 天台宗 埼玉教区寺庭婦人会 / 早川運送株式会社 / 古本屋さん Japanska andrahandsbokhandeln / イーストフォレスト合同会社 / 混声合唱団オーデンコール / 足立区民生・児童委員協議会 / 大阪府立東住吉高等学校 / 株式会社ジュピターテレコム / 真宗大谷派 徳蓮寺 / 特定非営利活動法人WE21ジャパンみなみ / 東京ロータリークラブ / 株式会社振興いわかざわ / 株式会社ソシア / 株式会社スフィダンテ / 株式会社Tポイント・ジャパン

※敬称略 ※その他にも多くの企業さま・団体さまからご支援いただきました。

どんな環境に生まれ育っても 「未来は創り出せる」と信じられる社会へ。

18歳選挙権の導入や大学入試改革など、
日本の中高生を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。
カタリバも社会の変化に伴い、教育の未来を見据えた新たな事業・拠点を展開し、
「ナナメの関係」と「本音の対話」を軸に活動を続けています。

マイプロジェクト 全国

全国の高校生**225人**がマイプロジェクトの
構想を練り、アワードには**1,951人**がエントリー。

高校生が地域や身のまわりの課題を見つけ、解決に向けて実行する「マイプロジェクト」。全国の高校生225人が、プロジェクトの構想を練りました。2017年3月に開催したアワードには、222プロジェクト、1,951人がエントリー。マイプロジェクト実行委員会が中心となり、アクションを重ねてきたチームや個人が発表を通して学び合い、得た学び・刺激を地域に持ち帰りました。



高校生の心に、“火を灯す”授業 全国

7,523人のボランティアキャストが
190校、**35,606人**の生徒へ
「ナナメの関係による本音の対話」を届けました。

高校生たちの意欲を高めるキャリア学習プログラム「カタリ場」を、のべ7,523人のボランティアキャストと全国の連携事業者が力を合わせ、全国190校、35,606人に届けました。



おんせんキャンパス 島根県雲南市

島根県雲南市で、のべ**639人**の
中高生にキャリア教育を届け、
43人の小中学生に
不登校支援を行いました。

島根県雲南市から運営を委託された「おんせんキャンパス」は、「少子高齢化」や「人口流出」など、ふるさとの課題解決を担う人材の輩出を目指し、教育から地域の魅力化・活性化を応援しています。2016年度は、のべ639人の中高生にキャリア教育を届け、43人の小中学生に不登校支援を行いました。



アダチベース 東京都足立区

困難を抱える子どもたち約**80人**に、
安心して学び、集える場を届けました。



東京都足立区から委託を受け、困難を抱える子どもたちへ居場所と学習支援を提供しています。2016年度は、約80人の中学生を対象に、学習支援の他、食事の提供や体験活動などを行い、彼らの自立する力を育てています。

中高生の秘密基地 東京都文京区

中高生の秘密基地に
のべ**28,248人**が来館！※



「b-lab(ビーラボ)」は、東京都文京区から運営を委託された、いつでも、なんでも挑戦できる中高生の秘密基地です。学習支援、音楽、スポーツなど様々なイベントを実施し、中高生自身がイベントに参加、参画する機会を創出しています。2016年度は、文京区に在住・在学・在勤の中高生世代のべ28,248人が来館しました。

※2016年9月～2017年8月の速報値

未来を生き抜く意欲と創造性になると信じて

まだ誰も知らない不確実な未来を語る時、ついつい不安を語ってしまいがちですが、今の時代はこれまでよりも、本人の“意欲”と“創造性”で可能性を切り開ける時代が到来した、と言えるのかもしれません。誰かにやらされるのではなく、自分ごととして探究した経験は、その後の人生においても自ら意欲を灯し続ける力となり、予測不能な未来を生き抜く意欲と創造性になると私たちは信じています。しかし、経済格差や社会の分断が進む中で、意

欲を持たずに思春期を過ごす10代が、日本にはたくさんいます。私たちは、どんな環境に生まれ育つ10代も意欲と創造性を育む出会いと学びを手に入れられることが当たり前になる未来を目指して、これからも活動していきます。

認定NPO法人カタリバ 代表理事 **今村 久美**

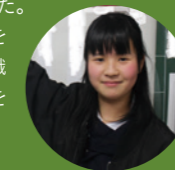


子どもたちの声①

私を支えてくれた、大切な居場所

小学3年の時に東日本大震災が起こりました。向学館は、友達と一緒に勉強しながら楽しめたり、遠くから来る先生と交流ができる、私にとって大切な居場所です。中学生になり勉強が難しくなる中、支えてくれたのは向学館の先生と、友達と、親でした。おかげで、無事高校に合格できました。また、外国の方々と触れ合いから、知らなかったことを知ることができました。高校では、向学館で学んだ知識を生かし、たくさんの人と接したいです。感謝の気持ちを忘れず頑張ります。

コラボ・スクール女川向学館に通う高校1年生



子どもたちの声②

興味と未来が広がり続けています

私の部屋にはエアコンが無く、暑さで勉強に集中できませんでしたが、アダチベースではエアコンの効いた環境で勉強に励むことができ、とても嬉しいです。毎日の夜ご飯もとても楽しみです。みんなでご飯を食べると幸せな気分になり、勉強も頑張ろうという気持ちになります。また、アダチベースでの様々なワークショップでは、色々な事に挑戦することができました。アダチベースのおかげで、私の興味は広がり、未来も広がり続けています。

※アダチベースでは生徒のプライバシーに配慮し個人の写真を使用していません。

アダチベースに通う中学2年生



＼ このようなご寄付の方法もあります！ /

ご支援いただいた企業事例

1

売上の一部を
ご寄付



例

期間限定のイベントで、生ビールの売り上げ等をご寄付いただきました。

2

ポイント還元による
ご寄付



例

顧客が利用して貯めたポイントをご寄付いただきました。

3

マッチングギフトによる
ご寄付



例

社員が寄付し、さらに会社が同額相当を上乗せする形でご寄付いただきました。

ご支援いただくと、以下をCSRのための外部広報に利用できます。

贈呈式

東北・熊本を含む各拠点で対応可能です。また内容によってはメディア誘致も可能です。



東北・熊本ツアー

企業さまからは大変好評で、社員の研修要素にもなるとの声をいただいております。また、生徒交流も可能です。



社名の掲示

Web、年次報告書等で金額に応じてロゴや社名の掲載をいたします。
※ご相談可能



これからCSRをお考えの企業の方へ

CSRとしてカタリバをご支援いただく方法は様々ございます。

下記の方法以外にも企業さまのご希望に合わせて、オーダーメイドすることも可能です。

社内講演

ランチ時などを利用して、興味のある社員を対象に講演を実施します。

ポスター配布

社内掲示用のポスターを配布します。

不要品・古本を通じた寄付

不要になった服や本などを社内で集め、その売り上げをご寄付いただけます。

寄付自販機設置

社内に設置する自販機の売り上げの一部をご寄付いただけます。自販機用ポスターも作成します。

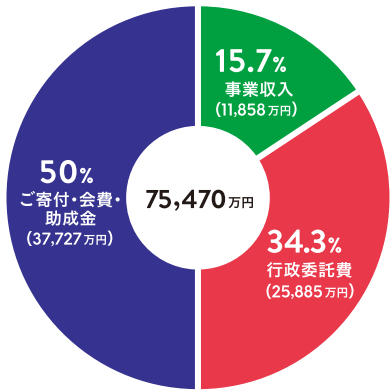
お気軽に
お問い合わせ
ください。

認定NPO法人カタリバ

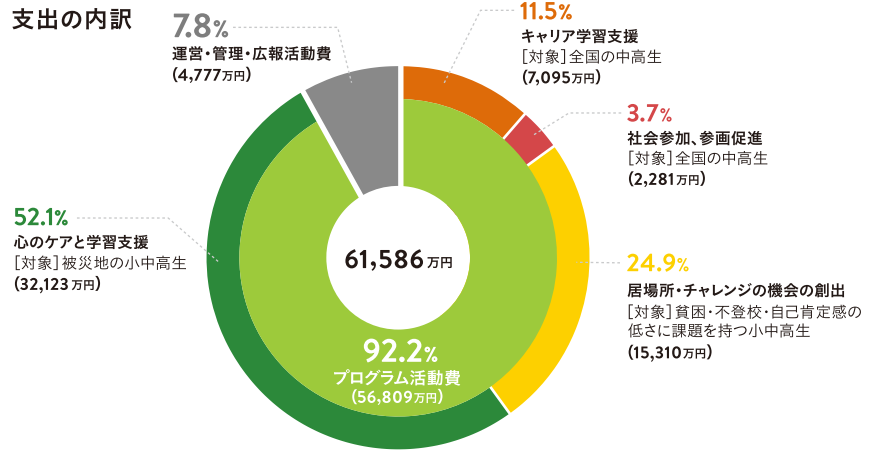
☎ 0120-130-227 (平日10～19時)

✉ kaiin@katariba.net

収入の内訳



支出の内訳



活動計算書 (2016年9月1日～2017年8月31日)

(単位:円)

科目	金額
1 受取会費 正会員受取会費・賛助会員受取会費	6,425,000
2 受取寄付金 受取寄付金・指定正味財産の部より受取寄付金振替額	364,691,161
3 受取助成金等 受取国庫補助金等・受取民間助成金	6,149,608
4 事業収益 人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	1,227,689
キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	261,621,840
災害等により学習環境に恵まれない人たちのための通信教育、学習相談その他の教育事業収益	103,366,253
普及啓発事業収益	1,958,738
5 その他収益 受取利息・受取配当金・雑収入	9,256,707
経常収益計	754,696,996
1 事業費 人件費	285,118,226
その他経費	321,037,863
事業費計	606,156,089
2 管理費 人件費	6,098,807
その他経費	3,604,613
管理費計	9,703,420
経常費用計	615,859,509
当期経常増加額	138,837,487
税引前当期一般正味財産増加額	138,837,487
法人税、住民税及び事業税	449,000
当期一般正味財産増加額	138,388,487
前期繰越一般正味財産額	92,200,882
次期繰越一般正味財産額	230,589,369
指定正味財産増減の部	
1 受取寄付金	140,822,972
2 受取助成金	932,460
3 一般正味財産への振替額	▲168,765,129
当期指定正味財産増加額	▲27,009,697
前期繰越指定正味財産額	417,664,374
次期繰越指定正味財産額	390,654,677
次期繰越正味財産	621,244,046

貸借対照表 (2017年8月31日現在)

(単位:円)

科目・摘要	金額
1 流動資産 現金及び預金	257,131,918
売掛金	74,353,958
その他	4,622,770
流動資産計	336,108,646
2 固定資産 有形固定資産	59,094,574
無形固定資産	4,486,876
投資その他の資産	312,000,932
固定資産計	375,582,382
資産の部合計	711,691,028
1 流動負債 未払金	78,643,034
その他	9,127,948
流動負債計	87,770,982
2 固定負債 長期借入金	2,676,000
固定負債計	2,676,000
負債の部計	90,446,982
1 指定正味財産 NPOカタリバ東北復興支援基金*	390,654,677
指定正味財産計	390,654,677
2 一般正味財産 前期繰越正味財産	92,200,882
当期一般正味財産増加額	138,388,487
一般正味財産計	230,589,369
正味財産の部計	621,244,046
負債及び正味財産合計	711,691,028

※東北復興事業への使用を目的としていただいた寄付金・助成金から、次年度以降の支援に使用するための基金です。基金は、他の活動資金と区分するとともに、取り崩しについては毎期首に事業計画を検討し、理事会の決定をもって行うなど、基金の公正な活用に注力しております。